



広げよう! 共助の輪

三鷹市総合防災訓練

7月26日に宮城県北部を震源として発生した地震は、犠牲者を出さなかったものの、それまで予測されていなかったことが次々と起りました。一方、九州地方では観測史上まれにみる大雨に見舞われ、大きな被害が発生しました。

私たちは自然現象の意外性や恐ろしさを再認識すべきではないでしょうか。そして、いつ、どこで、どのように発生するかわからない大災害に打ち勝つために、私たちに必要なのは十分な自助の力、

↓防災課内線2203

を身につけること、力強い「共助の輪」を広げておくことです。市では、毎年9月1日の防災の日を中心に、市内7地区で各自主防災組織が中心となり、地区の実情に応じた特色のある防災訓練を実施します。「自分の命は自分で守る」「みんなのまちはみんなで守る」を合言葉にお近くの会場の防災訓練に参加しましょう。

都市が地震には強いことが実証されています。このことから、地震に対する事前の備えをしっかりと行うこと、地震発生時の行動をしっかりと身に付けておくことがより重要であるといえます。

震度6弱以上が1日に3回という観測史上初の連続地震が発生した宮城県北部の地域では、6千戸近くの家屋が損壊し、約2千400人の人たちが避難生活を送ることとなりましたが、死者が出ることなく震度の大きさのわりには被害が小さかったといえます。

その理由はなぜでしょう。か。実は、この地方が平均37年という短い周期で繰り返しが発生した場合は、今回程度の被害で済むとはとても考えられません。今回の地震で最大震度を記録した付近の町と三鷹市の人口密度は4倍以上の差がありますし、8年前の阪神・淡路大震災でも、

三鷹市で同規模の直下地震が発生した場合は、今回程度の被害で済むとはとても考えられません。今回の地震で最大震度を記録した付近の町と三鷹市の人口密度は4倍以上の差がありますし、8年前の阪神・淡路大震災でも、

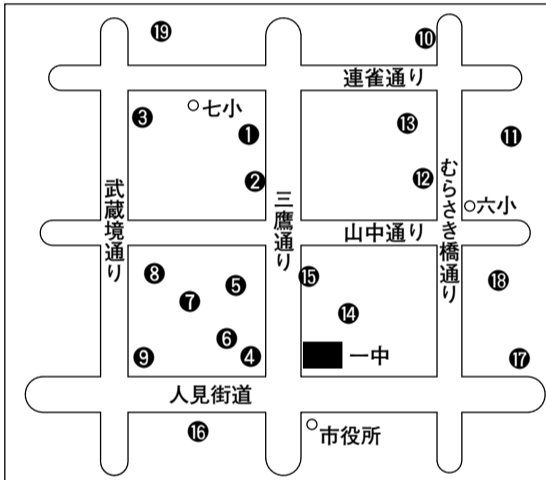
8月31日(日)

メイン会場 連雀地区

会場：第一中学校校庭
時間：午前9時～午後0時30分
主催：連雀地区住民協議会・防災対策特別委員会 三鷹市

図参照)に集結。そこで実際の災害を想定した簡単な訓練を実施。
(3) 一時避難場所から訓練会場の第一中学校まで、安全な避難路を選択し徒歩で避難。
(4) 訓練会場(第一中学校)では午前10時に訓練を開始し、4つの訓練コーナーを巡回します。
①関係機関による災害時の対応の展示見学、②消火器や三角パケツによる初期消火訓練、③包帯法や心肺蘇生法など応急救護訓練、④防護衣着用やロープの結索などの体験
(5) 防災直後の住宅街を想定し、消防署など関係機関による救出救助や消火活動などの実演を見学します。

連雀地区の住民のみなさんは、午前9時の大地震発生を想定し、以下の順序で訓練を進行します。
(1) 各家庭における電気、ガスなどの出火防止、家族の安否および家屋の戸締りを確認。
(2) 一時避難場所の公園など(下地



<一時避難場所>

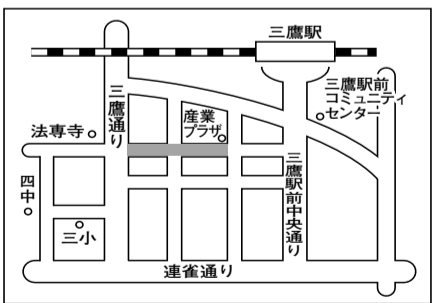
- 1 連雀中央公園
- 2 上連雀ひよこ児童遊園
- 3 上連雀みどり児童遊園
- 4 上連雀のぞみ児童遊園
- 5 山中第一児童遊園
- 6 山中第二児童遊園
- 7 上連雀ななよ児童遊園
- 8 上連雀くすのき児童遊園
- 9 上連雀みなみ児童公園
- 10 下連雀しらかば児童公園
- 11 下連雀みなみ児童公園
- 12 けやき広場
- 13 下連雀わかさ児童遊園
- 14 下連雀鷹の子児童公園
- 15 下連雀橋上都営児童遊園
- 16 吉野東児童遊園
- 17 しいの木児童遊園
- 18 下連雀たんぼ児童遊園
- 19 あけぼのふれあい公園

8月31日(日)

駅前地区

会場：産業プラザ前道路
時間：午前10時～正午
主催：駅前地区自主防災連合会 三鷹市

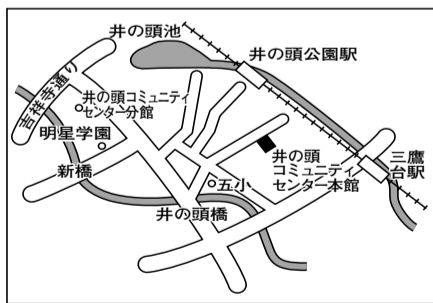
<訓練項目>
出火防止、初期消火、可搬ポンプ運用、避難誘導、応急救護、本部設置運営、給食給水、119番通報訓練、情報連絡、災害弱者対策、担架搬送訓練



井の頭地区

会場：井の頭コミュニティセンター本館
時間：午前10時～正午
主催：三鷹市井の頭地区住民協議会 三鷹市

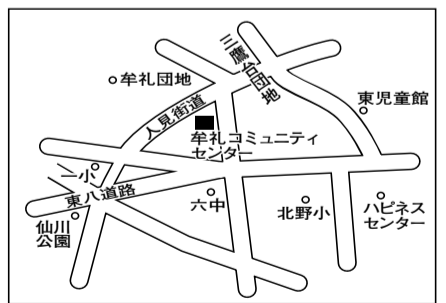
<訓練項目>
出火防止、初期消火、可搬ポンプ運用、避難誘導、応急救護、本部設置運営、給食給水



東部地区

会場：牟礼コミュニティセンター
時間：午前10時～正午
主催：三鷹市東部住区防災連合会 三鷹市

<訓練項目>
出火防止、初期消火、可搬ポンプ運用、避難誘導、消防活動、応急救護、トリアージ、本部設置運営、給食給水



隣近所で助け合い
ふと、隣の家を見ると一部屋根が崩れています。隣の一人暮らしのおばあちゃんが心配です。「おばあちゃん」と叫びながら家に駆け込みました。玄関脇の茶の間で倒れた柱と食器棚に足をはさまれ倒れ、

「あゝ火が!」突然、母が叫びました。見ると、ガスコンロの上のなべにエプロンが覆いかぶさり引火しています。「天井が燃え出すまでは消火できる。消火器」とマモルは叫びながら台所の隅にある消火器を取り、火元に向かって噴射、無事火を消し止めた。母が念のためとガスの元栓や電気ブレーカーのスイッチを切ります。家族とわが家の無事を確認した後、マモルは表に出ました。壊れている家がいっつもあり、この地震で相当な被害が生じたことはマモルにもすぐに理解できました。数本の煙の筋が見えますが、消防車のサイレンは聞こえませんが、



「テーブルの下にク」とマモル。あ然としていた両親と妹は、あわててテーブルの下に転がり込みます。食器棚からコップ、皿が次々に落下、破片が床を埋め尽くします。わずか30秒程の揺れが大変長く感じられました。

「くつを履かなければここから動くには素足やスリッパでは大変危険です。マモルは、ガラスの破片に注意して玄関から4人分のスニーカーを取り出してきました。

家族を救った防災訓練
大地震発生直後の想定物語
身的安全確保が最優先
「テーブルの下にク」とマモル。あ然としていた両親と妹は、あわててテーブルの下に転がり込みます。食器棚からコップ、皿が次々に落下、破片が床を埋め尽くします。わずか30秒程の揺れが大変長く感じられました。



夏休み最後の朝、マモルは家族と朝食をとっていました。午前9時、突然「ゴォー」と不気味な地鳴りと共に地震が発生、震度6強の激しい揺れが三鷹市を襲いました。

身的安全確保が最優先
「テーブルの下にク」とマモル。あ然としていた両親と妹は、あわててテーブルの下に転がり込みます。食器棚からコップ、皿が次々に落下、破片が床を埋め尽くします。わずか30秒程の揺れが大変長く感じられました。